



CARL SUCHY & SÖHNE

WIEN 1822



CARL SUCHY & SÖHNE WALTZ No. 1



CARL SUCHY & SÖHNE
WIEN 1822

CARL SUCHY & SÖHNE WALTZ No. 1



Inspired by Viennese Modernism from 1900,
Waltz No. 1 features a minimalist design coupled
with a deep love for the applied materials and an
obsession for technological innovation.



WALTS No. 1の発表

2017年2月、かつての王宮時計師の名を冠したブランドが、ウィーンのLooshaus（ロースハウス、チェコ出身の建築家アドルフ・ロースが設計した近代建築）にて、22本の限定生産である「Waltz No. 1」のファースト・シリーズとともに復活しました。22本とは、ブランドの設立年1822年に敬意を表したものです。

WALTZ No. 1 セカンド・シリーズの発表

2017年12月、セカンド・シリーズが50本の限定で発表されました。セカンド・シリーズには、以下のような特徴があります。

- ブラックまたはホワイトを基調とした45本
- ブランド初のブルー・ダイヤルを備えた「Waltz No. 1 Blue Danube（ワルツNo.1 ブルー・ダニューブ）」が5本限定で登場
- ケースバックには、固有番号を刻印
- セカンド・シリーズであることを示す「B」の刻印

価格

- ¥ 1,200,000.-（税別）

TECHNICAL SPECIFICATION

- Vaucher Manufacture Fleurier社製自動巻きムーブメント VMF 5401を搭載
- サファイア・クリスタルのケースバック
- Carl Suchy & Söhneデザインのゴールドプレートを施したマイクロローター
- コート・ド・ジュネーブ装飾と手作業による面取り
- 100% スイスメイド
- 29石
- 約48時間のパワーリザーブ
- 3気圧日常生活防水
- 41.5mm ポリッシュ仕上げのスティール・ケース
- 厚さ 9.3mm 薄型
- 時・分・秒表示 「秒」は6時位置にある回転ディスク「ワルツィング・ディスク」で表示
- ブラックのレザー・ストラップ
- 調整可能なフォールディング・バックル
- ブラック・モデルのケースは、ステンレススティールにADLC処理
- Carl Suchy & Söhneデザインによる木製化粧箱



CARL SUCHY & SÖHNE
WIEN 1822

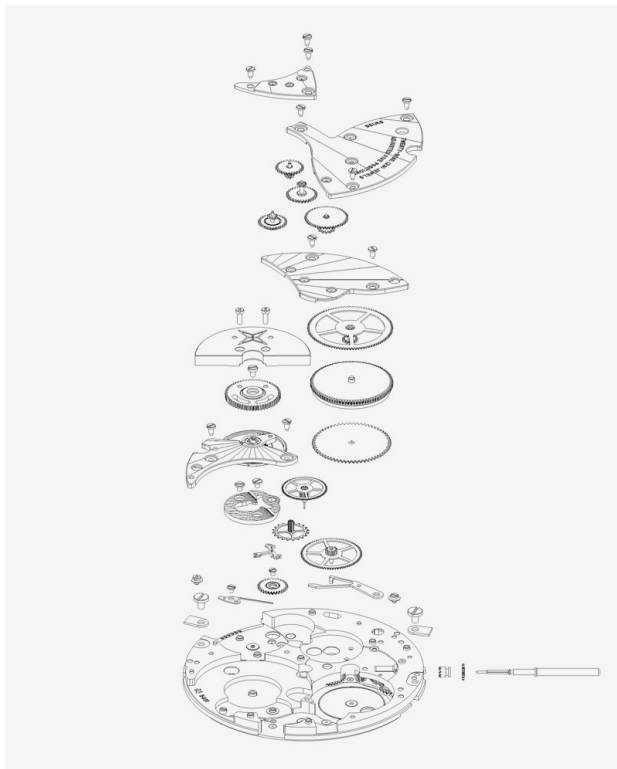
CARL SUCHY & SÖHNE WALTZ No. 1

MOVEMENT SWISS PRECISION

スイス製の精密なムーブメント



Waltz No.1には、Vaucher Fleurier（ヴォーシェ・フルーリエ）社製の自動巻きムーブメントVMF 5401が搭載され、それはサファリア・クリスタルのケースバックを通して見るすることができます。精度、パワーリザーブ、信頼性に優れたムーブメントは、ゴールドプレートのなされたマイクロローターを備えた薄型で、そのため、Waltz No.1のスレンダーなフォルムや、軽量で快適な装着感を実現します。



TECHNICAL SPECIFICATION

- Vaucher Manufacture Fleurier社製自動巻きムーブメント VMF 5401
- サファイア・クリスタルのケースバック
- Carl Suchy & Söhneデザインのゴールドプレートを施したマイクロローター
- コート・ド・ジュネーブ装飾と手作業による面取り
- 100% スイスメイド
- 29石
- 約48時間のパワーリザーブ
- 3気圧日常生活防水
- 41.5mm ポリッシュ仕上げのスティール・ケース
- 厚さ 9.3mm 薄型
- 時・分・秒表示 「秒」は6時位置にある回転ディスク「ワルツィング・ディスク」で表示



CARL SUCHY & SÖHNE
WIEN 1822

CARL SUCHY & SÖHNE WALTZ No. 1

世界的に有名なウィーンの建築家Adolf Loos（アドルフ・ロース）を称えるWaltz No. 1は、クリアなライン、ミニマルなデザイン、高品質の素材を特徴としています。



- 1：ガラスのカーブは、ベゼルのラインがケースへと繋がります。
- 2：ポリッシュ仕上げされ、丸みを帯びたエッジ
- 3：ポリッシュ仕上げのラグが、ベゼルからのラインを形成します。
- 4：ポリッシュ仕上げのラグから繋がるストラップ
- 5：やや丸みを帯びたケースバックとサファイア・クリスタルがWaltz No.1の全体的なイメージを形作ります。

Adolf Loos（アドルフ・ロース）にインスパイアされたデザインは、ベゼルとケースのシームレスな結合にも見ることができます



CARL SUCHY & SÖHNE
WIEN 1822

CARL SUCHY & SÖHNE WALTZ No. 1

WE DO NOT COUNT SECONDS IN VIENNA

ウィーンでは、ゆったりとした時間を楽しみます。



セコンド・ディスクのギョーシェ・パターンは、1分間に1回だけ、メイン・ダイアルのギョーシェのラインと一致します。
この動きは、ウィンナー・ワルツの優美な円舞と、急ぐことなく流れる時を楽しもうとする、ウィーンのコーヒーハウスのカルチャーを表しています。



CARL SUCHY & SÖHNE

WIEN 1822

WALTZ No. 1
VIENNESE ELEGANCE AND
SWISS PRECISION

ワルツ No.1 - ウィーンのエレガンスとスイスの精密性

Carl Suchy & Söhne (カール・スッキー & ゴーネ) ニューバージョンWALTZ No. 1 Blue Danube (ワルツ No. 1 ブルー・ダニューブ) を含む、50本限定生産のセコンド・エディション発表。





CARL SUCHY & SÖHNE
WIEN 1822



ステンレススチール
ブルー・ダイアル



ステンレススチール
シルバー・ダイアル



ステンレススチール
ブラック・ダイアル



ブラック
シルバー・ダイアル



ブラック
ブラック・ダイアル

約100年前、皇帝Franz Joseph I（フランツ・ヨーゼフ1世）とSigmund Freud（ジークムント・フロイト）は、ウィーン、プラハ、スイスのラ・ショードフォンにワークショップを構えていた、ハプスブルク帝国のお抱え時計師である、Carl Suchy & Söhne（カール・スツキー & ソーネ）の尊敬される顧客でした。2017年、この伝説的なオーストリアのウォッチブランドが復活しました。自動巻きのファーストモデルWaltz No. 1（ワルツNo. 1）は、ユニークな歴史的遺産と、最先端のコンテンポラリーなデザイン、スイスのクラフトマンシップを融合させたものです。A.H.C.I.

（Académie Horlogère Des Créateurs Indépendants、独立時計師アカデミー）のメンバーであるウォッチメーカーMarc Jenni（マーク・イェンニ）が7ヶ月かけて製作した自動巻きムーブメントを搭載したリストウォッチは、ウィーンのモダニズムにあるミニマルなエレガンスからインスピレーションを得たもので、厳密な年間限定生産です。

ニューシリーズ

2017年シリーズ完売の後、Waltz No. 1のセカンド・バージョンが50本リリースされました。ブラックとホワイトを基調とした4つの古典的なバージョンに加えて、ダークブルーのダイアルを備えたWaltz No. 1 Blue Danube（ワルツNo.1 ブルー・ダニューブ）が発表されました。

ウィーンから世界へ

Carl Suchy & Söhneは、オンライン・ショップを介して成長を続けましたが、今後は、オーストリアや国際的な時計専門店とのコラボレーションを念頭においています。

WALTZ No. 1

1900年からのウィーンのモダニズムに触発されたWaltz No. 1は、使用されているマテリアルへの深い愛と、技術革新を合わせたミニマルなデザインを特徴としています。

ウィーン・デザイン

Waltz No. 1のシグネチャーは、ダイアル上に表現された緻密なギョーシェ・パターンで、縦横のストライピングに分かれています。同様に6時位置にある「Waltzing Disc（ワルツィング・ディスク）」にも同様の装飾が施されています。モデル名が表しているように、秒表示ディスクは完璧な円で回転し、ダイアルのギョーシェ・パターンと1分間に1回一致します。これは、ウィーンのカフェ文化とウィーン的时间感覚に敬意を表するものです。

極薄ムーブメント

Waltz No. 1には、Vaucher Fleurier Manufacture社製の、ゴールドブレイトのマイクロローターがセットされた極薄自動巻きムーブメントが搭載され、

サファイア・クリスタル製のケースバックを通してその姿を眺めることができます。この機械式リストウォッチは、A.H.C.I.のメンバーであるMarc Jenni（マーク・イェンニ）、Reinhard Steger（ラインハルト・シュテガー）とMiloš Ristin（ミロシュ・リスティン）という2人のデザイナー、CEOであり、クリエイティブ・ディレクターであるRobert Punkenhofer（ロベルト・プンケンホーファー）のコラボレーションにより誕生しました。Waltz No. 1の詳細な情報は、スベックシートをご覧ください。

レガシー：CARL SUCHY & SÖHNEについて

CARL SUCHY & SÖHNEは、オーストリア唯一の歴史的なラグジュアリー・ウォッチ・ブランドで、100年の美しき睡眠の後、復活しました。ドナウ君主制の時代、ウォッチメーカーであるCarl Suchyと、彼の息子たちは、皇帝Franz Joseph Iと皇后Elizabeth（エリザベート、シシー）に仕える宮廷時計師であり、精神分析の父であるSigmund Freud（ジークムント・フロイト）は、ベスト着用時、Carl Suchy & Söhne製のポケットウォッチを愛用し、定期的に睡眠セッションに利用しました。Suchyファミリーは、3世代にわたり、ハプスブルク王朝の最も重要なウォッチメーカーとしての地位を維持し、皇室やオーストリアの上流階級の人々に時計を届けました。



CARL SUCHY & SÖHNE
WIEN 1822

CARL SUCHY & SÖHNE, PURVEYOR TO THE ROYAL COURT SINCE 1822

1822年以来、宮廷時計師を務めたCarl Suchy & Söhne

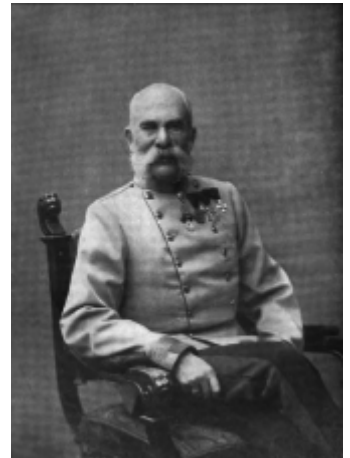
150年前、**Carl Suchy & Söhne**は、オーストリア・ハンガリー二重帝国における、唯一のラグジュアリーなウォッチ・ブランドでした。皇室のお抱えウォッチメーカーが製作する作品は、完璧なクオリティ、精度、時代を超越したエレガンスを誇っていました。貴族、芸術家、産業労働者、そしてオーストリア皇帝Franz Joseph I（フランツ・ヨーゼフ1世）までもが彼の顧客でした。

今、私たちは、その偉大なるブランドの復活を祝います。

1796年、ブラハで生まれたCarl Suchyは、すぐに人生を変える決断を下します。彼は、ウォッチメイキングの見習い工になったのです。ドイツで7年間の修行の後、Suchyはブラハに戻り、1822年、クロックのファクトリーをオープンしました。彼の、精度とデザインへの情熱は、彼の4人の息子たちの助けにより現実のものとなります。Carl Suchy & Söhneは、すぐにオーストリア・ハンガリー君主制のもっとも重要なウォッチ・ブランドになりました。長男Carl Suchy Juniorは、スイス La Chaux-de-Fondsにポケットウォッチのファクトリーを設立し、彼の弟Hansは、ウィーンの歴史的な中心部に店舗をオープンしました。Suchyの時計は、国境を越えて愛され、パリなどでの世界博覧会で来場者やプレスを魅了しました。そして、王宮、貴族、寺院、オーストリアの知的エリートサロンに不可欠なアクセサリでした。

Carl Suchy & Söhneは、1914年頃休眠するまでは、オーストリアの時計ブランドとして確固たる地位を築いています。

2016年、**Carl Suchy & Söhne**は再建されました。ウィーンのエレガンスとスイスの精密性を兼ね備えた唯一の高級時計ブランドです。



1848年から1916年まで統治した皇帝フランツ・ヨーゼフ1世は、時間に正確な人物と言われていました。なぜなら、彼は、Carl Suchy & Söhneのポケットウォッチを携えていたからです。



COMBINING VIENNESE ELEGANCE AND SWISS PRECISION

ウィーンのエレガンスとスイスの精密性の融合



かつて、Suchyは、オーストリア・ハンガリー帝国と、世紀末のウィーン知的階級の時計愛好家にとって最も重要なブランドでした。今、**Carl Suchy & Söhne**の長年にわたる遺産が現代に蘇りました。

Sigmund Freud（ジークムント・フロイト）は、彼の患者の子供の頃の思い出を聞き出すのにどれくらいの時間が必要なのか知りたいときに、Suchyのポケットウォッチを見ていたかもしれません。Gustav Klimt（グスタフ・クリムト）の作品は、Suchyのクロックの美しさと完璧さを刺激を与えたかもしれません。Suchyファミリーは、夜、店を閉めた後、ウィーンのカフェでの哲学的な討論に参加していたかもしれません。

Carl Suchy & Söhneは、工業革新と芸術的創造が咲き誇った時代に存在していたのです。

我々は、機能的でエモーショナルな役割を果たす心地よいデコレーションにも務めています。「Waltz No.1」は、洗練されたマテリアルと最新のテクノロジーへの情熱をシームレスに組み合わせるための愛情をもって、ひねりを加えたエレガントでミニマルなデザインの美学に従っています。



CARL SUCHY & SÖHNE
WIEN 1822

THE CARL SUCHY HISTORY

優れた業績と受賞経歴を誇るCarl Suchy & Söhneの豊かな歴史を振り返ります。

- 1796年 Carl Suchy (カール・スッキー)、ブラハの歴史的な中心地に生まれる
- 1819年まで ドイツの有名なウォッチメーカー、Franz Lehner (フランツ・レーナー) のもとで、ウォッチメーカーの修行をする
- 1812 - 1819年 ドイツ、スイスでの修行
- 1821年 Carl Suchy、Josephine Kroupa (ジョセフィーヌ・クロウパ) とブラハで結婚する
- 1822年 26歳になったSuchyは、ブラハの中心地にショップをオープンする。技術的に優れていた彼のペンデュラム・クロックとウォール・クロックは瞬間に成功を収める
- 1827年 長男、Carl Suchy Junior (カール・スッキー ジュニア) が生まれる。
- 1830年 次男、Johann Anton (ヨハン・アントン - Hans) が生まれる
同じ年、将来のオーストリア皇帝となるFranz Joseph I (フランツ・ヨーゼフ1世) も誕生する
- 1832年 毎年、定期的に出品していたライプツィヒのトレードフェアではしばしば賞を受賞した。三男Anton Gottfried (アントン・ゴットフリート) が生まれる
- 1835年 Ferdinand I (フェルディナント1世) の戴冠式にあたり、ブラハのロイヤルコートにクロックを設置する
- 1838年 Suchyのビジネスは拡大し、従業員は35名にまで増えた
彼は、国際的な拡大を見せた最初のウォッチメーカーの一人である
- 1841年 Suchyの末っ子、Emanuel Suchy (エマヌエル・スッキー) が生まれる
同じ年、オーストリアの有名な建築家であり都市計画者のOtto Wagner (オットー・ワグナー) も生まれている
- 1844年 Carl Suchy (カール・スッキー) は、「彼の作る時計の優雅さと技術的完璧性については、期待以上のものがある」として、初めての宮廷時計職人に任命され、長年にわたってその職を務めた
- 1845年 Suchyの2人の息子、CarlとHansは、有名なチェコのウォッチメーカー、Josef Kosek (ヨゼフ・コセック) のもとでの修行を終える。修行中の数年は、スイスの最高のウォッチメーカーとともに勉強していた
- 1848年 オーストリア皇帝Franz Joseph I (フランツ・ヨーゼフ1世) 戴冠式
- 1849年 Suchyの息子たちが親のビジネスに加わり、**Carl Suchy & Söhne** (カール・スッキー & ゾーネ) と改名され、オーストリアではもっとも有名なクロック・ファクトリーとなる
- 1853年 Carl Suchy Juniorが、Le Corbusier (ル・コルビジエ) の生誕地であるスイスのLa Chaux-de-Fonds (ラ・ショードフォン) にポケットウォッチ・ファクトリーを設立する。ファクトリーでは、ファミリー・ビジネス用に供給するだけでなく、イギリスにも輸出されていた。
- 1858年 オーストリアの高級紳士服ブランドKnize (クニーシェ) が設立される。



ブラハ中心地



ブラハ中心地にオープンしたショップ



1838年当時の工房



フランツ・ヨーゼフ1世戴冠式



Carl Suchy JuniorがLa Chaux-de-Fondsに設立したポケット・ウォッチ・ファクトリー



CARL SUCHY & SÖHNE
WIEN 1822

THE CARL SUCHY HISTORY

- 1862年 ウィーンのアート史に大きな影響を与えることになる、アーティスト Gustav Klimt (グスタフ・クリムト)、作家 Arthur Schnitzler (アルトウル・シュニツラー) が生まれる
- 1863年 Suchyの次男 Hans が、ウィーン の中心地 Rothenturmstraße 6 (ローテントウルム通り6番地) にワークショップを開設する。Johann Anton は、プラハのショップを引き継ぐ。彼もまた宮廷時計職人に任命される
- 1865年 ウィーン の Ringstraße (リング通り) が開通。オーストリア初の馬車鉄道は、ウィーン の Schottentor (ショッテントール) と郊外の Hernalts (ヘルナルス) を結んだ
- 1866年 カーペットメーカー Eduard Haas (エドゥアルド・ハース) が、**Carl Suchy & Söhne** のショップのすぐ隣にウィーン初の百貨店をオープンする
- 1866年 創業者 Carl Suchy 亡くなる (享年70歳)。末っ子 Emanuel がプラハのショップを引き継ぐ
- 1867年 Johann Strauß (ヨハン・シュトラウス) 作、Blue Danube Waltz (美しく青きドナウ) がウィーンで初演
- 1870年 有名な建築家、デザイナーである Adolf Loos (アドルフ・ロース) と Josef Hoffmann (ヨーゼフ・ホフマン) が生まれる
- 1872年 Emanuel Suchy、プラハ初のボランティア消防隊を設立
- 1879年 Carl Suchy Junior は、Franz Joseph I (フランツ・ヨーゼフ1世) とその妻、Elizabeth (エリーザベト) の結婚20周年を祝って、リングで開催された有名なマカルト行列に参加。Suchy は誇らしげに16世紀のウォッチメーカーを髣髴とさせる衣装を纏っていた
- 1886年 Sigmund Freud (ジークムント・フロイト) がウィーンに鍛錬所を開設し、精神分析の方法を開発する
- 1891年 ウィーンのカフェ文学として知られている「Young Vienna - Jung Wien」ムーブメントは、オーストリアとその周辺の文学運動を形作る、ウィーンのカフェに集う芸術家、作家、知識人たちの集会や討論によって生まれた。Peter Altenberg (ペーター・アルテンベルク)、Arthur Schnitzler (アルトウル・シュニツラー)、Hugo von Hoffmansthal (ユーゴ・フォン・ホフマンスタール)、Stefan Zweig (シュテファン・ツヴァイク) らが、もっとも有名なメンバーである
- 1894年 Emanuel Suchy は、プラハ消防隊に対する偉大な支持により、Franz Joseph I より権威ある帝国勲章 Knight's Cross を授与される
- 1895年 当時もっとも影響力のある建築家の一人であった Otto Wagner (オットー・ヴァグナー) は、装飾的な歴史主義の終わりを宣言する。そしてモダニズム、哲学、文学、音楽、芸術、デザイン、建築の旗印のもとで、Jugendstil (ユーゲントシュティル) の時代が始まる
- 1898年 Hans Suchy 亡くなる。彼の未亡人 Therese (テレゼ) は、ウィーン の Rothenturmstraße (ローテントウルム通り) のショップを引き継ぐ。彼女も宮廷時計職人の荣誉に浴した
- 1907年 Adolph Cervinka (アドルフ・チェルヴィンカ) が、プラハの **Carl Suchy & Söhne** の新しいオーナーとなる。ショップは、市の中心地 Na Příkopě (ナ・プシーコペ) という特別な場所に移転する
- 1918年 オーストリア・ハンガリー二重帝国の終焉とともに Carl Suchy & Söhne も休眠状態となる
- 2016年 **Carl Suchy & Söhne** の復活



Gustav Klimt 作「接吻」



Adolf Loos



16世紀のウォッチメーカーの衣装を纏った Carl Suchy Junior



CARL SUCHY & SÖHNE
WIEN 1822

CARL SUCHY & SÖHNE

ABOUT

Carl Suchy & Söhneについて

Mr. Robert Punkenhofer (ロベルト・ブンケンホーファー)

2017年以來、Carl Suchy & Söhne社オーナー兼CEO

世界的に有名なアートとデザインにおけるエキスパート。ニューヨークのアーティストVito Aconcci (ヴィート・アコンチ) とともに、自分のホームタウンであるGraz (グラーツ) に建設したMurinsel (ムーアインゼル) のプロジェクトやウィーン・アートウィーク、日本での愛知万博、スペインのサラゴサ、中国の上海における万博など、100以上の展示会やスペシャル・プロジェクトの責任者を務めました。

Mr. Miloš Ristin (ミロシュ・リスティン) - プロダクト・デザイナー

セルビア生まれ、現在ではスイスをベースとして活躍する**Miloš Ristin** は、著名なローザンヌのECAL (Ecal School Cantonal D'art de Lausanne, ローザンヌ美術大学) で学びました。彼がデザインする穏やかなオブジェは、最先端の技術と伝統的なクラフトマンシップに対する感謝とを組み合わせたものです。

Mr. Reinhard Steger (ラインハルト・シュテーター) - グラフィック・デザイナー

オーストリアのデザイナーであり、デザインスタジオProxi (プロクシ) の共同設立者。Goethe Institute (ゲーテ・インスティテュート) とVenice Biennale (ヴェネツィア・ビエンナーレ) におけるスペイン・パビリオンの仕事に携わりました。

Mr. Marc Jenni (マーク・イェンニ)

独立時計師。旧 A.H.C.I. (Académie Horlogère Des Créateurs Indépendants、独立時計師アカデミー) 会員。同じく独立時計師であり、2007年のPrix Gaiaを受賞したPaul Gerber (パウル・ゲルバー) のもとで修行、ニューヨークとスイスのTiffany & Co.で10年間仕事をし、2010年、ウォッチメイキングにおけるコンサルティング・カンパニーNobletime (ノーブルタイム) の共同設立者となりました。





株式会社 ノーブルスタイリング
03-6277-1604 || www.noblestyling.com || info@noblestyling.com